

小栗風葉 タカシ 小説家。明治八年二月二日愛知縣生乳、大正十五年

一月十五日歿（二八五—一九六）。舊姓小栗、本名加藤徹夫、幼名磯平。

筆名夕村舎士入、枯華道人、楓葉、艶如子、風葉散人、風葉生、小栗、

小栗伊曾平、小栗楓葉、小栗徹夫等。明治二十四年尾崎紅葉の門に入り、

る。二十二年春陽堂に入社。また加藤家の養子となり、回家の長女か

ず（加藤壽子）と結婚。岡本靈華、眞山青果はその門下。

著書『籠まぐら』（合著、紅葉山人編、明治二十九年九月十二日春陽

堂）、『花吹雪』（泉鏡花全集、明治二十二年六月二十八日新聲

社）、『鬢下地』（明治二十二年九月四日春陽堂）、『戀慕好かじ』

（明治二十二年五月二十一日春陽堂）、『名物男』（風葉名、明治二

十二年六月十二日春陽堂）、『創作苦心談』（合著、新聲社編、明治

二十四年二月五日新聲社）、『黒装束』（風葉名、明治二十四年二月

二十一日春陽堂）、『栢の花』（明治二十五年一月一日新聲社『アカ

ツキ』）、『文金鳥田（前編）』（明治二十五年一月五日大阪・巖々

堂）、紅葉山人原著『脚本金色夜叉』（脚色、明治二十八年六月九日春

陽堂）、『女學生』（明治二十九年九月二十一日春陽堂）、『青春・

秋之巻』（明治二十九年十一月十八日春陽堂）、『女垂族』全二冊（前

編、明治四十年一月一日、後編、二月二十日青木嵩山堂）、『美人の

あかひ』（風葉名、春葉合著、秋聲、明治四十年十一月五日札幌樂部）、『

VAN TURGENIEFF原著『恋のめ』（A LEAF OF THE STEPPES）』（明治四十

一年二月四日札幌樂部）、『戀のめ』（明治四十一年四月十五日新潮

社）、『二十八年集』（田山花袋共編、明治四十一年四月十五日新潮

社）、『風葉集』（明治四十一年六月十五日新潮社）、『女』（小川

黙永共作、明治四十一年九月一日高有倫堂）、可むら雲（今日著・

大町桂月・並川臨風編、明治四十一年二月五日高有倫堂）、可風葉

白河鯉洋・樋口龍峽編、明治四十一年二月五日高有倫堂）、可風葉

小品』（明治四十一年二月十五日隆文館「小品叢書」）、可金色夜叉

・終篇』（明治四十一年四月）千日、縮刷可終篇金色夜叉（大正四年

七月十五日新潮社、再刊・昭和十年五月）千日、「新潮文庫」）、可殘

紅』（明治四十一年七月五日全尾種次郎寺本安之助刊、千代田書房）、可荒尾讓

介』（明治四十五年六月十八日、縮刷・大正六年八月二十五日新潮

社）、可終篇荒尾讓介』（大正二年一月十五日新潮社）、可人の思

全二冊（前編・大正四年一月）千日、中編・四月二十四日、後編・六

月五日新潮社）、可戀ごめ』（大正四年九月二十四日新潮社「代表的

名作選集」）、可みだれ髪』（大正五年四月二十四日新潮社「情話新

集」）、可若妻』（大正六年一月十日新潮社）、可人の罪全二冊（前

編・大正八年二月）千日、後編・九年二月八日新潮社）、可落潮』（大

正八年八月）千日新潮社）、可思ひ妻全二冊（前編・大正十年五

月十七日、後編・十一年二月十日新潮社）、可青春』（昭和十年二月

五日中央公論社「日本近代悲劇名作全集」）、可戀ごめ・戀慕なが

し』（昭和十一年二月二日新潮社「新潮文庫」）、可青春全二冊（上

・昭和二十八年二月二十五日、中・四月五日、下・六月五日岩波書店

「岩波文庫」）等。